

APL と J

西川 利男

誕生から現在まで

Ken Iverson による "A Programming Language" = APL
IBM メインフレーム・コンピュータ上で
パソコンの上の APL
J 言語 = K. Iverson, R. Hui

APL とは

- APL 文字を用いる関数型プログラミング言語

関数 値 (右引数) → 値 (結果)

(左引数) 関数 (右引数) → 値 (結果)

- 原始関数、作用素などを組み合わせて、
プログラムを作り (定義し)、ユーザ関数を作る。
- APL 文字のキーボード



J言語とは

- 普通のキーボード文字を用いる関数型プログラミング言語

関数 値 (右引数) → 値 (結果)

(左引数) 関数 (右引数) → 値 (結果)

Jでは

値、データ = 名詞

関数、処理 = 動詞、副詞、接続詞

- プリミティブ (動詞、副詞、接続詞) を用いて
プログラムを作り (定義し)、ユーザ定義の処理動詞を作る。
- 構文構造
 - if. do. (then) else. end. 構文
 - while. do. end. 構文
 - for. do. end. 構文
 - select. case. do. end. 構文
- プログラムの実行は
 - 実行ウィンドウ (起動時) …:ijx ファイル名
 - スクリプトプログラミングウィンドウ …:ijs ファイル名
- 特徴とサポート環境
 - ループなしの多量データ処理
 - 配列計算
 - 多桁整数演算
 - ビット演算、システム内部処理
 - 正規表現によるパターン演算
 - フォームエディタ
 - オブジェクト指向クラスの作成
 - Grid 演算
 - 多彩なグラフィックス
 - plot, viewmat
 - gl2
 - OpenGL による 3D-graphics